

## 「水草展 2017-まもろう！野生の水草-」と私の研究

槐 ちがや（生命環境科学研究科生物資源科学専攻 1 年）

2017 年 7 月

みなさん、今年の夏、8 月 11 日（金・祝）から 8 月 20 日（日）に筑波実験植物園で行われる水草展 2017 はご存知でしょうか。私は研究の傍ら、水草展 2017 のスタッフもしております。というのも、今回の水草展 2017 では筑波大学と筑波実験植物園が共同で行っている研究についても展示を行います。特にこのレポートでは私の研究が水草展 2017 にどのように関連しているか紹介したいと思います。

今回で 2011 年から数えて 4 回目となる水草展ですが、毎回注目するテーマが違います。ちなみに 2 年前の水草展 2015-海に生きる水草-では海草（うみくさ）に注目し、栽培が困難とされてきた海草の展示に成功しました（水草展 2015 ホームページ：<http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2015/08mizukusa/>）。私は水草展 2015 の時からスタッフをしているため、2 年前に展示した海草の水槽も担当しています。

そして、今回の水草展 2017-まもろう！野生の水草-ではタイトルの通り野生の水草に注目します。野生の水草を見る、知る、探す、ということで、様々なフィールドにおける水草の探し方や野生の水草が衰退している理由について展示を行います。私は実際にフィールドに出て、環境要因や水草の植生調査などを行い、湧水が豊富な農業用水路や小河川において水草と環境要因がどのように関連しているかについて研究しています。特に私のフィールドでは近年、外来種が増加し、在来種の水草の脅威となりつつあります。そのため、水草展 2017 では湧水のフィールドの水草を実際に展示し、さらに私の研究の結果を含めて、外来種がどのように問題なのか、在来種とはどのような関係性にあるのかについて展示を行います。右の写真は私の調査地の 1 つの小河川であり、在来種と外来種がパッチを形成して混生している様子が分かります。



また絶滅危惧種のコーナーにおいて昨年度に高知県で初記録となり、和文で報告した、ムサシモ（トチカガミ科）についても展示を行います（槐ら 2016）。こちらは筑波実験植物園で昨年度から栽培している個体を展示し、論文の内容と併せて紹介する予定です。

水草展 2017 の詳細は水草展 2017 ホームページでも紹介されていますし、公式ブログ：<http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2017/08mizukusa/blog.php> で直近の情報を公開しています。私を含めた筑波大のスタッフも定期的にブログで展示内容や水草について書いていますので興味がある方は是非見てみて下さい、水草に関する知識や水草展の情報を手に入れることができます。それでは水草展 2017 で多くの方にお会いできるのを楽しみにしております。